

石橋 国彦

■練習場名：城山ゴルフアリーナ ZEROIN ■年齢：70歳
■勤務歴：18年 ■役職：支配人

「私の経営方針＝自らの社会的使命を忘れず日々研鑽」

当練習場は平成4年1月、宗像市に開場しました。（2階建60打席）東から遠賀郡岡垣町と西の宗像市を貫く国道3号線沿いですが、南北は山林地帯で民家はなく、まさに郊外型練習場です。当時は岡垣町に1センター、宗像市に1センターが営業中とあって、同業者との競合に割って入る形となりました。思い立ったのはバブル絶頂期、開場したのは崩壊の始まりという厳しい時期、私は10年間のゴルフショップ経営、1年半の練習場支配人としての経験をもとに、本社の理念「地域のために、地域とともに」に基づき、当練習場の基本方針をつくりました。

1. 基本方針

- ① エチケット、マナー&テクニック（マナーと技術向上を援助する。）
- ② コミュニティ&ゴルフ（ゴルフを通して親交の輪を広げる。）
- ③ グループ&グループ（グループ化を援助する）

2. 基本方針に基づき、お客様に「楽しみと喜びと感動」を与えるイベント企画

スクール事業はもとより、シニア・レディース会は毎月1回、10組～12組、毎回キャンセル待ちが出る盛況。（今年4月で180回）。ZEROIN会は2か月1回開催。毎年1回の謝恩ゴルフ大会は今年3月に17回を終えたばかりで毎年200名前後の参加者。この大会では、約1000名の会員様全員に案内状、参加者、協賛企業への礼状を欠かさない。大会の内容をスポーツ報知に掲載することでお客様に喜ばれている。

3. バブル崩壊とともに練習場でも価格競争が激化、「打放題」が当たり前の様相。当ZEROINでは「打球は1球1球時間を掛けて丁寧に」「スコアメイクは、ショートゲームの練習から」をモットーに、当時九州で初めてのコンピューターを導入しましたが、同時にアプローチ、パッティンググリーン、バンカー、最長77Yのミニコース（6H）を造成。低料金（メンバー1時間300円。1日中700円）で利用を奨励している。ハウス、打席には、名言集やマナーに関する文章を貼り、お客様の意識高揚を願う。

4. 「人は石垣、人は城」会員拡大とグループ化を目指して努力。会員様こそ当ZEROINの「営業マン」。グループ内での切磋琢磨は練習量の増大に繋がり、組織拡大指向等の相乗効果を発揮する。という見地から、グループ会員には年会費を格安にし、15名以上のグループには一人当たり1,000円を還付。グループの運営資金にあてるよう援助している。現在7グループが活動している。（会員の1/3はグループに所属。）

5. 昨今周辺練習場では、打ち放題の低料金競争が激化。当 ZEROIN は、料金値下げ競争には組しない。「業者間競争はサービスで」の立場を堅持し、13 年間料金変更なし。当初の借入金は 16 年間で完済しましたが、すでにリニューアルが待っています。しかも、追い打ちをかけるように消費税の引き上げが画策されており、これは何とか阻止したい。同時に「団塊の世代 600 万人」をゴルフ市場へどう迎えるか、ゴルフ練習場連盟の組織の力量が問われています。私は 99 年以来福岡支部の長を勤めさせていただいています。福岡支部でも「私たちは、お客様に『楽しみと喜びと感動』を与えるための共同事業を創造し、素晴らしいゴルファーを育成するとともに、底辺拡大の為に力を合わせて頑張ります。」この理念を旗印に決意を新たにしているところです。